

利根川 大花火大会

4 大花火師夢の饗宴

約30万人が感動
3万発の花火が
境町の夜空を
彩る！

令和7年9月13日（土）、境町の利根川河川敷にて「第38回利根川大花火大会」が開催されました。昼間には航空自衛隊百里基地第7航空団によるT-4練習機展示飛行が行われ、その迫力ある演技で観客を魅了しました。

花火大会は、昨年に引き続き、内閣総理大臣賞受賞歴を誇る山崎煙火製造所（つくば市）、野村花火工業（水戸市）、紅屋青木煙火店（長野県）、マルゴー（山梨県）の4社が趣向を凝らした華麗な花火を披露。音楽とともに打ち上がる、さらに迫力を増した約3万発の花火が夜空を鮮やかに彩りました。

打ち上げの合間に、さかい郷土っ子検定クイズや花火をきれいに撮影するコツの紹介などのアナウンスも行われ、会場には境町のグルメを楽しめる屋台が並びました。国内外から訪れた約30万人の来場者が、境の夏を存分に満喫する一日となりました。

3万発の音楽花火

日本最大級！！



Photographer Hiroki Oka

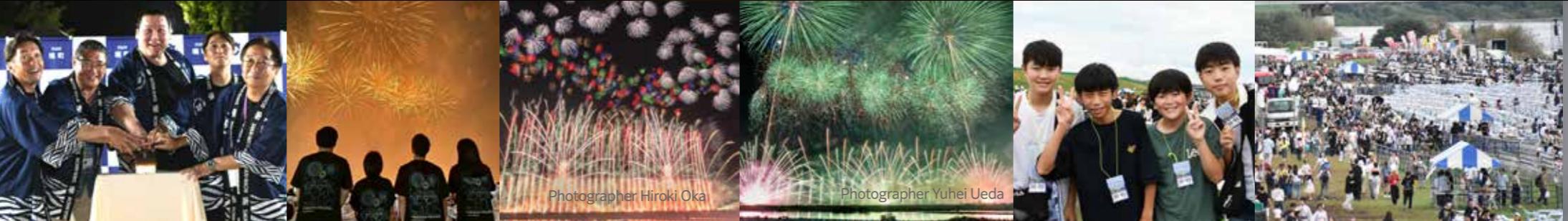


Photographer Hiroki Oka

さかいふるさと祭り
実行委員長
石川栄さんコメント



今年の花火も昨年に引き続き打ち上げ発数3万発の日本最大級となっております。私たち実行委員会は、境町の各種団体のメンバーや高校生など多くのボランティアで構成されており、その中で仲間をつくり、このふるさと境町を盛り上げていくために活動しております。これからも未来の子供たちがふるさとを誇れるような花火大会にしていきたいと思っております。



Photographer Yuhei Ueda